NEWS RELEASE

2015 年 1 月 6 日
株式会社沖縄ファミリーマート

1 食あたり約70%のプラスチック原料の削減
弁当などをラップ包装から「サイドシュリンク」へ変更
～環境負荷の低減と開けやすさの向上などを同時に実現～

株式会社沖縄ファミリーマート（本社：沖縄県那覇市/代表取締役社長：大城健一）は、環境負荷の低減、開けやすさの向上、中身の見やすさの向上などを目的に、米飯類（弁当・寿司など）とパスタや焼きそばなどの麺類の包装形態を、ラップで全体を包装する“フルシュリンク”から、フタと容器の結合部分にのみフィルムを装着する「サイドシュリンク」に変更致します。

株式会社ファミリーマート（本社：東京都豊島区/代表取締役社長：中山勇）は、2014 年 9 月中旬より大手コンビニエンスストアでは初めての取り組みとして本格的に導入しており、株式会社ファミリーマートに続き、沖縄ファミリーマートも 2015 年 1 月 9 日（金）から順次変更致します。

【サイドシュリンクについて】
実　施　日：2015 年 1 月 9 日（金）～
実施店舗：沖縄ファミリーマート各店舗（宮古・石垣を除く）
主な特徴：①１食あたりに使用するプラスチック原料を、従来と比較して約70%削減
②フタと容器の結合部分全てをフィルムで覆うため、テープ止めに比べ高い遮断性を実現
③フィルムの結合部分を１回切るだけでフィルムを開封でき、女性やシニア世代にも開けやすい設計に
④ラップによる光の反射がないため、中身の具材が見えやすく、選びやすさも向上

株式会社ファミリーマートでは、「サイドシュリンク」の実験を 2014 年 2 月から開始し、商品の配送時や店頭陳列時の安定性などにも対応するため、フタと容器に凹凸をつけるなど、様々な実験・検証を重ね、9 月 16 日（火）に本格導入になりました。
「サイドシュリンク」に変更することで、ゴミを削減できることはもちろんのこと、包装に使用するプラスチック原料は、1食あたり約70%、年間約380トン以上の削減となり、環境負荷の低減に大きく貢献いたします。

NEWS RELEASE

[変更前]	[変更後]
ラップで全体を包装する「フルシュリンク」	フタと容器の結合部分にのみフイルムを装着する「サイドシュリンク」
	
	

【その他の容器の変更点】

① フタと容器に凹凸を付け、商品の配送時や店頭陳列時の安定性などを確保

② パスタや焼きそばなど、電子レンジでの加熱時間の長いチルド温度帯商品は、容器の角から蒸気が抜ける容器構造を新たに開発。蒸気の抜けを確保することで、容器の変形を防止。

※その他、一部チルド弁当などは、熱で収縮するラベルを U 字孔（フタにある空気穴）に張り付けることで対応。

③ 容器の色を、白・黒・透明などに順次集約し、統一感のある売場を実現

沖縄ファミリーマートは地元沖縄企業として、沖縄を元気に、沖縄から元気を発信する「地域に愛される企業」を目指して、環境負荷低減に向けた取り組みも実施し、地元沖縄に密着したさまざまな商品を展開してまいります。

以上